

静岡県漁業協同組合連合会
1087 静岡市追手町 9-18
16.4.2 ☎ 054-254-6011
編集・発行 = 指導部漁政課

1. 本会人事異動 4月1日付で発令

本会では、4月1日付で職員の人事異動を次のとおり発令しました。(カッコ内は旧職名)
焼津事業所長 田中平八(焼津事業所長心得) 購買部次長兼石油課長兼資材課長
安藤徳一郎(購買部次長兼石油課長) 焼津事業所次長 戸塚 求(購買部資材課長)
同 鈴木 博(販売部推進役) 賀茂出張所長 西野朝善(賀茂出張所長心得) 販
売部 牛島秀和(焼津事業所) 沼津港湾事務所 清水美守(沼津事業所) 賀茂出張
所 田中 守(焼津事業所) 購買部石油課兼資材課兼販売部事務取扱 中野聡子(購
買部石油課兼資材課)

2. 環境にやさしい「無洗米」の販売始まる

本会資材課では、日頃より環境にやさしい商材の取り扱いに留意していますが、この
ほど新規取扱商品として「無洗米」の取り扱いを開始しましたのでお知らせします。

お米のとぎ汁には、リン・チッソがかなり高い割合で含まれ、これらの物質は一度水
に入ると取り除くことが難しく下水処理場での除去が極めて困難です。

とぎ汁を流さないことが最も簡単で単純な汚染防止の方法ですが、現状そのほとんど
が海へそのまま流れ込み、赤潮・アオコの発生の要因となり、河川や海の環境汚染につ
ながっています。

このようなことから、漁村地域において漁業者が率先して無洗米の利用普及に努め、
漁協系統として取り組む海の環境保全の推進につなげたいと考えていますので、漁協女
性部等を通じて販売促進にご協力下さい。

問合せ先：県漁連資材課 TEL:054-252-5155 FAX:054-253-3841

3. 静岡県水産基本政策プログラム(案)提案される

県農業水産部水産総室ではこのほど開催した県水産振興審議会において、水産単独で
初めてとなる水産基本政策プログラム(案)を提案しました。

水産基本方針の主な取り組みは次のとおりです。

加工品の品質表示の充実、衛生管理を徹底させるHACCP導入、親子の食育と地産地消の
推進など、研修会を開き生産、流通、消費の各層で普及を図る。

試験研究機関は駿河湾深層水水産利用施設を活用し、マダイ、ヒラメ、アワビ、の量
産技術の改善、タカアシガニなど深海性甲殻類の新しい種苗生産技術の開発を進めるほ
か、バイオマスの活用も促進し、加工残さの有用成分を解明する。また、栽培漁業セン
ターの種苗生産部門を平成17年には外部委託し、研究体制の一本化を図る。

担い手育成では県立漁業高等学園のカリキュラムを改革し、漁業経営、流通・販売な
ど他分野に精通した人材を育てる。

また、今後はホームページなどで内容を開示して広く漁業関係者、県民に意見を求め、
今夏に開催予定の同審議会できりまとめます。

4. テングサ作柄調査行われる

県水産試験場伊豆分場では、5月に本格化する伊豆半島特産のテングサ漁の解禁を前
に、今年の生産量を占う作柄調査を始めました。

この調査は、漁業者や取扱い業者からの要望を受け、同分場が毎春漁期前に行ってい
るもので、4月末までに東伊豆町から土肥町までの計7地区50ヵ所で行われます。

作柄調査初日(3月22日)は、田子漁港沖約800㍍の尊之島周辺の、水深5㍍の海底4ヵ所
で1平方㍍あたりのテングサを採取して生育状況などを調べました。その結果、長さが平
均17~18㍍で昨年並み、着生密度は不作だった昨年より4ヵ所中3ヵ所で少なくなり、重
量で1割ほど減っていました。

5. 妻良漁港に浮棧橋が完成

南伊豆町の妻良漁港に、賀茂地区の漁港では初めて海面との高低差がなくなる本格的
な浮棧橋が整備され、去る3月26日に関係者約60人が出席し竣工式などが行われました。

この浮棧橋は、海面との高低差を解消し漁獲物などの積み降ろし作業の負担の軽減を
図り、安全で高齢者にやさしい漁港とすることが目的で、国、県、町が進めている平成
15年度妻良漁港広域漁港整備事業の一環として整備されたもので、長さ30㍍、幅9㍍、厚
さ1.3㍍で、鋼材とコンクリート材の合成構造物で、軽乗用車なら乗り入れができる強度
があります。

妻良漁港の従来の棧橋ではこれまで、潮の干満で高低差が最大で1.5㍍もあり、漁業従
事者の高齢化が進むなか、船荷の積み降ろしが重労働となっていました。整備された
浮棧橋により安全性と作業の効率化が確保されました。

6. 食品表示の適正表示調査

日本農林規格協会は昨年10月21日~1月30日、複数の都道府県に店舗展開する食品販
売店1,378店舗を対象に、賞味期限など食品表示が訂正に表示されているかを調査しまし
た。生鮮食品では、全店舗の79.9%が全商品、18.5%が全商品の80~99%に正しく表示
されていました。表示の欠落が目立ったのは全店舗の1.3%、商品の半分以上の欠落は
0.3%に止まりました。

加工食品では、実際に表示状況を調べた食品表示ウォッチャー(一般募集)から、「賞味
期限の記載場所が分かりづらい」「原産地名が“越南”など通常使われない国名・地名で
分かりにくい」「表示内容が複雑」「偽装表示かどうか流通段階での検査体制が一層重要」
などの意見がありました。今回の調査では、生鮮食品で約98%がおおむね適正表示でし
たが、加工食品では紛らわしい表示が116件確認され、不適正だった店舗には地方農政局、
農林水産消費技術センターなどが指導を行いました。

7. 諸会議・日程 (4月6日(火)~4月19日(月))

- 既存分省略 -

4月 8日(木) 県漁業振興基金 = 理事会・評議員会 (県水産会館)

4月13日(火) 県漁連・県信漁連 = 大漁祈願祭 (三島大社)

” 県おさかな普及協議会 = 代表幹事会 (県水産会館)

4月14(水)~15日(木) JF共水連静岡 = JF共済事務処理研修会 (”)

4月17日(土) 県漁連 = 口坂本の森クラブ活動 (静岡市口坂本)